

中堅・中小企業向け

日本 SME 格付け

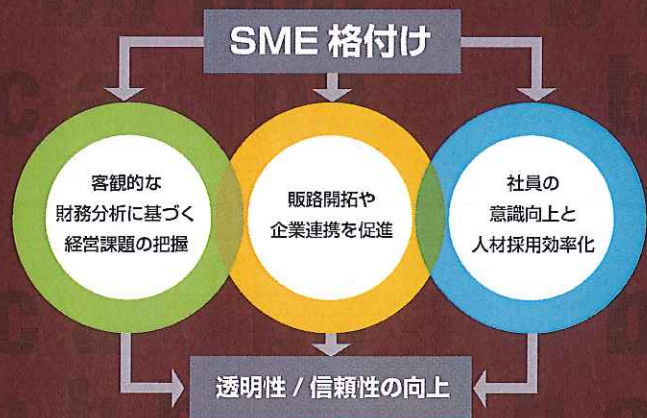
スタンダード&プアーズが日本の中堅・中小企業を応援します

**世界的な格付機関の客観的評価により
国内および海外企業からの信頼性 UP!**



◀ 格付け証書

- 直近の売上高が 5 億～ 100 億で非上場の日本国内中堅・中小企業を対象
- 企業の信用力を "aaa" から "ccc" までの 7 段階で評価
- 「格付け証書」「財務分析レポート」「格付けアイコン」等をご提供



スタンダード&プアーズ・
レーティング・ジャパン株式会社
〒100-0005
東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビル

SME 格付け取得に関するご相談
SME 格付け事務センター (企業財務格付機構)
TEL:03-5425-2364
<http://kakuduke.co.jp/>

日本 SME 格付けは、信用格付業に関する金融商品取引法の規制を受けません。
日本 SME 格付けの付与・提供行為は、同法における信用格付業以外の業務であり、信用格付行為に関連する業務としての「関連業務」にあたります。
詳細については、S&P 社のホームページ (<http://www.standardandpoors.co.jp/smerating>) をご覧下さい。



代表取締役社長 古賀 詳二氏

コガソフトウェアでは会社設立以来、全期黒字決算を達成。

孝行デマンドバス
コガソフトウェアが推進するデマンド交通システム。過疎地域、高齢者の方々の外出支援で地域活性化。



本社所在地 ● 〒110-0005 東京都台東区上野 1-17-6 広小路ビル4階
創業 ● 2000年3月21日
事業内容 ● ソフトウェア開発・インフラ構築、課題分析、マーケティング、ソリューション企画提案、要件明確化、設計・プログラミング・テスト、保守運用
従業員数 ● 94名(平均年齢32歳):2015年4月現在
ホームページ ● <http://www.kogasoftware.com/>

「格付けは、従業員とその家族に安心を与える指標のひとつ」

会社設立以来15年間、一貫して黒字決算を続けているシステム開発のコガソフトウェア株式会社。2014年の決算で、初めて日本SME格付けを依頼し、'a'を取得、2015年も2年連続で'a'を取得した。創業者の古賀詳二社長は、日本SME格付けは関係者に安心を与える効果があると考えている。

古賀社長は、格付けを取得したのは営業のためではないと言う。「取引先だけでなく、従業員の家族にも、どのような会社で働いているのかを明確にしたい。格付けはその1つの目安になる。従業員の家族が安心できない会社が社会に貢献出来るとは思えない」と語る。

古賀社長が会社を起こしたのは2000年。以前勤めていたIT企業では、税務申告の内容と、取引企業に出す決算書が異なっており、社員もその実態を知らない状況に大きな違和感を覚えたことがきっかけだ。日本のIT業界で、エンジニアが誇りや夢をもって安心して働ける会社を作り、業界を変えていきたいとの一心であった。

コガソフトウェアは設立初年度より決算書をホームページに公開している。ネットワークのインフラ構築や、大手企業の基幹システムの心臓部など、社会基盤を手がけることで、コガソフトウェアなくして社会はまわらない、という状況を作り上げることを目標に

会社を成長させてきた。近年では健康寿命の延伸をキーワードに論文を書くなど、新分野の開拓に積極的である。「自分の経営を見て欲しい。私は日本SME格付けで'aaa'を取りたい、取れないというのは、何かしらの問題があると思っている。」古賀社長の経営手腕に対する確信が伝わってくる。

コガソフトウェアは、将来の上場を目指している。そのためには、自社製品を普及させること。シリコンバレーの製品を買うのではなく、自社の製品をシリコンバレーに売り、アップルが意識するような会社になりたい、と古賀社長は言う。「高い夢、ホラと思われても良い。徹して言い続けることが重要。」「他社から受注した仕事を消化するばかりでは夢がない。夢がない会社は伸びない。夢があるから進歩できる。哲学になってしまうが、哲学もないと優秀な人材は集まらない。」古賀社長は、優秀な人材の獲得にも定評がある。優秀な人材がベンチャー企業で成功を収めているアメリカを常に意識し続けてきた。日本SME格付けは、優秀な人材獲得のための基礎づくりに役立っているという。

日本におけるIT業界のモデル企業となることを目指すコガソフトウェア。日本SME格付けを経営ツールとして継続取得する意向であり、今後の格付けの推移からも目が離せない。

